

今週（3月17日から3月21日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

無担保コールO／N物は、引き続き資金調達ニーズの強い状況に変わりなく、相場に大きな変化は見られなかった。無担保コールO／N物加重平均レートは、17日(月)が0.477%、18日(火)が0.476%、19日(水)は0.477%で推移した。21日(金)も概ね横ばい圏での取引となった。
ターム物に関しては、期末越えのショートターム物を中心に出会いが散見された。

日銀当座預金残高は、17日(月)に貸出増加支援オペの残高減少に伴い、513兆円台後半まで減少して始まった。その後は緩やかに増加する中、21日(金)には国債大量償還・利払いを受け、522兆円台まで増加する展開となった。
また、18日(火)・19日(水)に開催された日銀金融政策決定会合では、金融政策の現状維持が決定された。

●レボ市場

今週のG C O/N物は、概ね0.48～0.505%程度の水準で推移した。
S C個別銘柄では、カレント近辺の銘柄にビッドの出入りが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は閑散な中、全ゾーンが横ばい圏で推移した。
18日(火)に行われた1 Y物入札は無難な結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでは堅調に推移した。21日(金)に行われた3 M物入札は強い結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでも強含みで推移した。

●CP市場

今週のC P市場は、機械、不動産、鉄鋼等複数の業態が大型発行を実施した。
市場残高は、引き続き24兆円台半ばで推移した。
発行レートについては、0.5%以上で推移しており、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきが見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%）	日銀当座預金残高 （億円）
3/17（月）	37,396.52	1.505	148.87	0.477	0.486	5,137,500
3/18（火）	37,845.42	1.500	149.47	0.476	0.489	5,147,400
3/19（水）	37,751.88	1.515	149.58	0.477	0.493	5,153,200
3/20（木）						
3/21（金）	37,677.06	1.520	148.98	0.477	0.495	5,222,300

来週（3月24日から3月28日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
3/24 (月)					
3/25 (火)	金融政策決定会合議事要旨(1月23・24日分 8:50)	流動性供給 3/26発行 6,500億円			1月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 2月の米新築一戸建て販売件数 3月の米CB消費者信頼感指数
3/26 (水)	1月のサービス産業動態統計速報(経済産業省 8:30) 2月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50) 1月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)				2月の米耐久財新規受注 2月の英消費者物価指数
3/27 (木)		40Y 3/28発行 7,000億円			10-12月期の米GDP確報値
3/28 (金)	決定会合における主な意見(3月18・19日分 8:50) 3月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)	TB3M 3/31発行 45,000億円			2月の米個人所得・消費支出(PCE) 10-12月期の英GDP確報値

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
3/24 (月) 日銀予想	▲ 300	4,000	3,700	国債補完	6,700		6,700	10,400	TB3M発行▲45,000償還43,000
3/25 (火) 弊社予想	▲ 500	26,000	25,500				0	25,500	
3/26 (水) 弊社予想	▲ 500	3,000	2,500				0	2,500	流動性供給▲6,500
3/27 (木) 弊社予想	▲ 500	5,000	4,500				0	4,500	財政融資資金の回収
3/28 (金) 弊社予想	▲ 500	13,000	12,500				0	12,500	年度末諸払い 40Y発行▲7,000
週 間 合 計	▲ 2,300	51,000	48,700	—	6,700	0	6,700	55,400	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、邦銀勢のポジションに大きな変化がない限り、引き続き0.477%近辺での推移が見込まれる。債券レボGC T/N物は、レボ市場は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ引き続きレートは横ばい圏での推移が見込まれる。短期市場は、28日(金)に3 M物の入札実施が予定されている。C P市場は、年度末初の発行が控えており、事業法人の発行動向やレート水準が注目される。

主要なイベントは、国内では25日(火)に決定会合議事要旨の公表、28日(金)に主な意見の公表、海外では27日(木)に米10-12月期G D P速報値、28日(金)に米2月個人消費支出(P C E)などの発表が予定されている。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。